

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価	コメント
施策03 子育て環境の充実	要検討	検討事項あり

【参照：資料 - 10】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域全体で子育て支援を行う意識の醸成と社会的資源の創出 ●多様化する子育てニーズへの対応 ●母子家庭等に対する就労自立支援策の創出 	<p>少子化だけではなく、高齢化、情報化、経済環境など多面的な分析から、施策の課題を具体的に記述すべき。</p>	<p>多面的な把握が必要ということは十分理解している。高齢化の部分については、個別の事業で、ファミリーサポート事業があり、市としても高齢者の方に地域支援を担っていただいている。指摘に付いては個別事業の事務事業評価の方で触れており、こちらでは細かく表記していない。</p>
<p>【施策の環境変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●少子化の進行及びひとり親世帯の増加 ●地域連帯感の希薄化 ●子育て支援に関する認知度の高まりとそれに対する期待感の増加 ●子育てニーズの多様化 ●母子世帯等に対する就労自立支援の強化 	<p>少子化の進行、ひとり親世帯の増加というのは、本市の場合どういう状況なのかというのがよくわからない。例えば、合計特殊出生率などといったものがないとわかりにくい。もっと具体的に表現するよう検討願う。</p>	<p>合計特殊出生率は、毎年、全国、全道で発表されるが、市については道で分析し5年に1度平均値が発表される。最新は平成19年度の数値で、しばらくの間同じ数値が掲載されることになるが今後検討する。</p>
	<p>具体的にはいったいどういうニーズの多様化があるのかという部分記載すべき。</p>	

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
【施策の環境変化】 ●少子化の進行及びひとり親世帯の増加 ●地域連帯感の希薄化 ●子育て支援に関する認知度の高まりとそれに対する期待感の増加 ●子育てニーズの多様化 ●母子世帯等に対する就労自立支援の強化	<p>コミュニティが子育て支援をしなければいけない背景は何か、母子家庭の比率が高まってきたとか、女性の社会進出の就労実態がどうであったかという、そういう傾向を基にして、ニーズがこうなっているために、行政としてはこういう対応をする、というような流れが見えてくると、これは足りて、これは足りていないということが見えてくる。子育てから離れた人でもわかるような項目の立て方を検討願う。</p>	<p>次年度の評価の際にもう少しわかりやすい表現を検討する。</p>
【施策の達成状況】 子育ての環境に関する意識は、夫婦を取り巻く雇用・経済環境という社会的要因と密接な関連にあり、少子化の進行がいっそう進んでいる。平成21年度における施策の状況は、事業の創設を図る中で現状を維持している状況にある。しかし、これまでと同様、子育て支援に対する期待感から、ニーズの多様化に十分に対応し切れていない面も否定できない。	<p>「事業の創設をはかる中で現状を維持している状況にある」という点がわかりづらい。 「子育て支援に対する期待感」とは、どの程度のことを言っているのか。「十分に対応しきれていない面も否定できない」という文章も抽象的でわかりづらいため表現について検討願う。</p> <p>子育ての環境に関する意識は、「夫婦」と書いてあるが、「親を取り巻くとか」「子育て世代を取り巻くとか」、夫婦単位で子育てをしている世帯の比率が低くなっていることからすると、これは理想論であって現実論ではないように思う。社会的にどうかと思われるため、表現について検討願う。</p>	<p>次年度に向けて分析し表現することを検討する。</p> <p>子育て世代とか、子育て世帯というような表現を検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
【施策の課題】 ●地域全体で子育て支援を行う意識の醸成と社会的資源の創出 ●多様化する子育てニーズへの対応 ●母子家庭等に対する就労自立支援策の創出	<p>自治会で祝い金を企画したことがある。この町に住み、子どもを産み、世代を超えての繋がりを持つことは非常に好ましいことである。そして、子どもの笑い声が地域に満ちているということは、まちづくりを目指す上で大変結構な考えではないかと思う。地域の活動のみならず、自治体にも関連することだと思うので、それぐらいの決意が最初の施策の環境変化、課題等の中で謳われるということがあってもいいのではないか。</p>
【施策の成果指標】 ①子育てしやすいと思う保護者の割合 ②次世代育成支援サービスの延べ利用者数	<p>個人の意識や状況、要求、活動状況を示すような指標が設定できるか検討願う。</p>

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価	コメント
施策03 子育て環境の充実 基本事業01 地域子育て支援の充実	概ね適切	検討事項あり

【参照：資料 - 11】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【事業の成果指標】 ①地域子育てサービスの利用者数 ②家庭児童対策地域協議会参加延人数</p>	<p>地域子育て支援のサービスの利用者数を成果指標として記載しているが、このサービスの情報などが、子育て世代にきちんと伝わっているかどうかという指標は設定できるか。 子育てで悩んでいる方々へ、行政の支援サービスの情報がきちんと伝わっているということ、把握できるものをこの基本事業の指標にすれば、施策の充実度が捉えられる。</p>	<p>子育て情報の冊子を2年に1度、子育て支援室で作成し市内の公共施設に配置しているが、年間何冊でているのか細かい数値は把握していない現状である。指標化ができるのかどうか、研究したい。</p>
<p>【事業の達成状況】 地域子育てサービスの利用者数は、新型インフルエンザ流行による事業の中止などにより減少傾向となった。今後も利用者に向けたPRや利用しやすいサービスや相談の場の提供に努める必要がある。家庭児童対策地域協議会については引き続きネットワーク構築に努め、支援機関とより一層の連携を図り、参加者を増やすよう取り組みを進める。</p>	<p>成果指標の1つ目は、理由の記載があるが、2つ目について初期値に比べるとほぼ横ばい、もしくは減少しているがその理由がない。目標は300なので、まだあと100程上げなくてはならないが、微減していることについてどのように考えているのかを記載し、それに相応した打ち手を考える必要があるのではないか。</p>	<p>人数で捉えているが、会議の場に関係機関の方ができるだけ複数出席していただく事によって、一人が不在の時でも相談がうまく繋がるといった対応を考えてきているところである。なんとか延べ人数を増やそうという意図である。達成状況での表記を検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
【事業の成果指標】 ①地域子育てサービスの利用者数 ②家庭児童対策地域協議会参加延人数	<p>親たちがこれだけ育っているということが実感できるような指標があってもいいのではないか。何人参加したかとか、誰々がどのくらい利用したかということだけではなく、親たちの成長を客観的に捕らえることは可能か。</p>
	<p>事業の意図に「支援を必要とする子どもや家庭に対して、孤立を防ぎ支援機関の連携を図る。」というとてもいい文言が入っている。 特に今、いろいろな問題が出ているときであり、ここに視点があると非常に把握しやすい、これが具体的に指標にあらわれるようなことを、今後の課題として検討願う。</p>
	<p>実際に利用された方からアンケートをとるところまでやるべきではないか。</p>

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価	コメント
施策03 子育て環境の充実 基本事業02 未就学期児童への支援	適切	—

【参照：資料 - 11】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
【事業の成果指標】 ①幼児教育・保育サービス利用率 ②保育所待機児童数	保育所の待機児童数は7から9に悪化しているが、「保育園の施設整備等により需要に見合った定員の拡大を図り」という表記は市民に誤解を与える可能性はないか。 保育園を「整備する」は「新しく作る」というイメージがあるが、その表記でよろしいのか。	「江別市立保育園に関する整備計画」に基づき、保育園の整備を進めていくためこのように表記している。

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価	コメント
施策03 子育て環境の充実 基本事業03 学齢期児童への支援	概ね適切	検討事項あり

【参照：資料 - 12】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【事業の達成状況】 放課後児童会・児童クラブ待機者数については、従前は年度当初の定員を上回る入会希望がある場合、定員数内で退会による空きが生じた時に入会が可能となることとし、それまで待機を願っていたが、定員を上回っても受け入れが可能であれば、年度当初からの入会を認めることとしたことにより、待機者が減少した。児童センターに併設されている児童クラブのうち一つが、他の放課後児童会へ移行中であること、また、新型インフルエンザ流行による学校・学級閉鎖により、児童センター利用者数は減少傾向となった。今後とも、放課後の児童の居場所の確保に努め、取り組みを進める。</p>	<p>子育てしやすいと思う保護者の割合を例えば地区別に出すということは可能ではないか。 市民アンケートであれば、地区別の属性でクロス集計した結果を、成果指標にしないまでも達成状況のところに加えるというようなやり方もあると思うので検討願う。</p>	<p>達成度への表記方法について研究する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【事業の成果指標】 ①放課後児童会・児童クラブ待機者数 ②児童センター利用者数</p>	<p>児童センターやクラブの中で、子どもたちがどう育っているか、どのような指導がされているかということの評価できる文言あるいは指標があるのか、そういうようなことを研究願う。</p> <hr/> <p>子育て支援に地域差が生じてないか。特に、学齢期児童への支援は児童センターの立地条件、施設で偏りが無いかな。選択の平等性や公平性が保たれているかなどについて、データが付くと評価しやすい。成果指標になるものだけでは全体がとて見えにくい。 児童クラブの方も、年度ごとの計画や月々の子どもたちの運動能力やニーズ、要望に対してどういう関わりがあったかというのを細かく見ていると思う。それが見える形が何もない。せっかく培ってきたものなので、見える化ができるよういろいろな工夫を検討願う。</p>